第 17 講　「脱亜入欧」の達成と帝国主義
PART4 北清事変と日露戦争

Chapter 1　北清事変と日英同盟

目標
北清事変の背景を知ろう。
日英同盟の背景を知ろう。

1　北清事変と日英同盟

①〔1　　　　　　　　〕**〔義和団戦争〕（1900 ～ 01 年）**

激化する列強の帝国主義的進出に対し，

清国内における〔2　　　　　　〕を中心とする排外運動が高揚。

1900 年　義和団が北京の列国公使館を包囲し西太后政権は鎮圧に難航

※清が対外方針を転換，義和団を利用して列国に宣戦。

※それに対し日本・ロシア・イギリスなど**8 か国連合軍**が北京に出兵。
義和団を追い払い，清国政府を降伏させる。

1901 年　北京議定書

※清は 4 億 5000 万両の賠償金支払い・公使館所在区域の
治外法権・公使館守備隊の北京駐留を列国に承認。

②〔3　　　　　　　　〕**協約（1902 年）**

A　**ロシアの南下政策**→日本やイギリスの利益と衝突

北清事変後も「満洲」を占領し，独占的権益を清に承認させ軍備を増強。

※大韓帝国〔韓国〕にも野心をみせ親露政権を形成していた。

B　日本の対応→政府内の意見対立

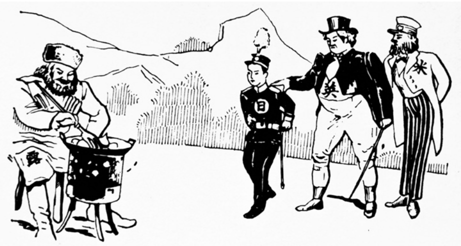
あ　**日露協商論〔満韓交換論〕→伊藤博文**・井上馨（元老）ら

※ロシアと戦うには軍事的・財政的
準備が不十分なことを強調。

い　日英同盟論〔対露開戦論〕

→山県有朋（元老）・桂太郎（首相）ら

※ロシアと対抗するため
イギリスと結ぶことを強調。



日英同盟

C　同盟締結へ

イギリスも日本を利用してロシアと対抗する立場をとり「**光栄ある孤立**」を放棄。

※日本は世界最強の海軍国と対等条約を結び，実質的に欧米列強入りを果たす。

D　内容→ロシアを対象とした防御同盟で有効期限５年

あ　**清国・韓国（＝極東）**における日英両国の利益保護の協同行動

い　利益保護のための**他国との戦争におけるほかの１国の厳正中立**

う　**ほかの第三国参戦の際の協同戦闘の義務**

2　国内世論の動向

①**主戦論〔開戦論〕**→次第に多数となる

A　対露同志会（1903 年）

近衛篤麿（貴族院議長），頭山満らを中心とする国家主義団体。

B　七博士意見書（1903 年）→対露強硬論

戸水寛人ら東京帝国大学などの七博士が桂太郎首相・小村寿太郎外相に提出。

C　その他

徳富蘇峰の『国民新聞』や黒岩涙香の『万朝報』も主戦論を盛り上げた。

②**反戦論・非戦論・厭戦論**

A　**幸徳秋水・堺利彦**

社会主義者の立場から**新聞『万朝報』で反戦論を展開**するが，

社長の黒岩涙香が経営悪化を理由に主戦論に転じたため退社。

※ 1903 年，平民社を結成し週刊『平民新聞』を創刊。

B　〔4　　　　　　　　〕→日清戦争時は「義戦」として賛同していた

キリスト教人道主義の立場から**新聞『万朝報』で非戦論を展開**するが退社。

C　〔5　　　　　　　　〕

1904 年，雑誌『明星』に厭戦詩

「**君死にたまふこと勿れ**－旅順口包囲軍の中にある弟を歎きて－」を発表。

D　大塚楠緒子

1905 年，雑誌『太陽』に厭戦詩「お百度詣」を発表。

まとめ

北清事変は，義和団の反乱を清国政府が利用したことで発生した。

日英同盟は，ロシアの南下政策に対する両国の対抗措置であった。

Chapter 2　日露戦争

目標
日露戦争時，陸軍と海軍の勝ちっぷりの違いを知ろう。
日比谷焼打ち事件が起こった根本的な理由は何だろう？

1　日露戦争

①開戦

1904年2月，日本軍が仁川と旅順のロシア艦隊を奇襲し，翌々日に宣戦布告。

②経過

A　陸軍→辛勝

遼陽会戦→沙河会戦→旅順占領（1905年1月，第三軍司令官**乃木希典**が多数の兵を失った末に二〇三高地を攻略）→**奉天会戦**（3月，総司令官大山巌が辛勝）。

B　海軍→大勝

旅順口閉鎖→黄海の海戦→〔1　　　　　〕（1905年5月，連合艦隊司令長官〔2　　　　　〕が**バルチック艦隊**を壊滅させる）

→日本優位のうちに講和の機運が高まる。

※余力のない日本は，アメリカに調停を依頼。

日露の満州における勢力拡大を望まない

セオドア＝ローズヴェルト大統領（共和党）がこれに応じた。

あ　日本

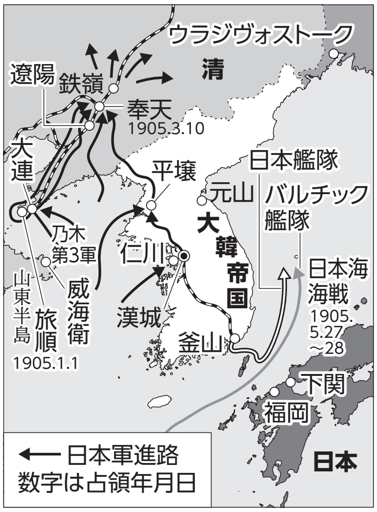
戦費（約17億円）の欠乏を

内国債・外国債・増税に頼る。

い　ロシア

1905年1月，血の日曜日事件を契機に

第一次ロシア革命が起こり，継続は困難。



日露戦争

2 ポーツマス条約と日比谷焼打ち事件

小村寿太郎

①〔3　　　　　　　　〕**条約**（**1905年**9月5日）

A　調印→日本全権**小村寿太郎外相**，ロシア全権**ウィッテ**

B　内容

あ　ロシアは〔4　　　　〕に対する日本の指導・監督権を全面的に承認

い　ロシアは**旅順・大連の租借権**および**長春以南の鉄道と付属利権**を譲渡

※北京条約で清も承認。

う　ロシアは**北緯50度以南のサハリン〔樺太〕**と付属の諸島を割譲

え　ロシアは沿海州・カムチャツカの漁業権を譲渡

②**日比谷焼打ち事件**（**1905年**9月5日）→第一次桂太郎内閣は翌年総辞職

日本の戦争継続能力について真相を知らされないまま，

賠償金は一切獲得できないなど，日露講和条約に対する不満から発生。

※条約調印の日に開かれた講和反対国民大会の参加者数万人が暴徒化，

東京に〔5　　　　　〕が出された。

③日露戦争の影響

A　韓国・満洲への進出

※**竹島（島根県）**は日露戦争中，国際法を根拠として日本領に編入していた。

B　軍備拡大と重工業の発達による資本主義の発達

C　白人不敗神話を打ち破り世界に衝撃を与える

※**日本の国際的地位が向上**，アジア・ヨーロッパ各地の民族運動を刺激。

日比谷焼打ち事件

まとめ　日露戦争では，ロシア軍に対して陸軍は辛勝，海軍は大勝した。
苦難の割に賠償金が得られなかったことが，日比谷焼打ち事件を起こした。

第 17 講　PART 4　確認問題

1 激化する列強の帝国主義的進出に対し，
1900 年に清で起こった排外運動を何というか。

① 甲申事変　② 甲午農民戦争
③ 壬午事変　④ 北清事変

2 1902 年に日本が同盟を結んだ国はどこか。

① アメリカ　② ドイツ
③ フランス　④ イギリス

3 日露協商論〔満韓交換論〕を主張したのはだれか。

① 桂太郎　② 伊藤博文
③ 山県有朋　④ 陸奥宗光

4 キリスト教人道主義の立場から非戦論を展開したのはだれか。

① 与謝野晶子　② 堺利彦
③ 内村鑑三　④ 幸徳秋水

5 二〇三高地を攻略し，旅順占領に成功したのはだれか。

① 乃木希典　② 東郷平八郎
③ 樺山資紀　④ 大山巌

6 ポーツマス条約を仲介したアメリカ大統領はだれか。

① ウィルソン　② セオドア = ローズヴェルト
③ ハーディング　④ フランクリン = ローズヴェルト

7 ポーツマス条約の日本全権はだれか。

① 陸奥宗光　② 大隈重信
③ 伊藤博文　④ 小村寿太郎

8 ポーツマス条約でロシアが日本の指導・監督権を全面的に承認したのはどこか。

① 台湾　② 韓国
③ 旅順　④ 大連

第17講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：④　**北清事変**は，義和団を中心として起こったため，**義和団戦争**とも呼ばれる。

2 解答：④　日本はイギリスとの間で**日英同盟協約**を結び，ロシアの南下政策に対抗した。

3 解答：②　①の桂太郎（首相）と③の山県有朋（元老）は日英同盟論〔対露開戦論〕を主張した。

4 解答：③　①の**与謝野晶子**は雑誌『明星』に「君死にたまふこと勿れ」を発表し，厭戦論を展開した。②の**堺利彦**と④の**幸徳秋水**は社会主義の立場から新聞『万朝報』で反戦論を展開した。

5 解答：①　②の**東郷平八郎**は連合艦隊司令長官で，**日本海海戦**でバルチック艦隊を壊滅させた。④の大山巌は満州軍総司令官で，**奉天会戦**で辛勝した。

6 解答：②　日本はアメリカに調停を依頼し，日露の満州における勢力拡大を望まない**セオドア＝ローズヴェルト大統領**がこれに応じた。

7 解答：④　ポーツマス条約の日本全権は小村寿太郎外相，ロシア全権は**ウィッテ**。

8 解答：②　③の**旅順**と④の**大連**については，ロシアが租借権を譲渡するとした。